

ウレタン樹脂系
建築用接着剤

フローリング・合板・根太・鋼製束用

床暖房対応

オートン

フロア★スター600

強靱なゴム弾性

強靱な弾性と強力な接着力で床鳴りや目隙を抑制。

幅広い対応力

鋼製束から床暖房までOK
断熱材にも使用可能。

環境にやさしい

F★★★★/4 VOC 適合
なので安心。

抜群の作業性

寒い時季でも絞りがやすく
作業者への負担が軽減。

高性能の証し

JIS A 5536 認証品
が高性能の証しです。



JIS A 5536
単層又は複合フローリング用接着剤 / 木質系下地用(耐熱型)
TC0307129 F★★★★

日本接着剤工業会 JAIA 4VOC基準適合

鋼製束から
床暖房の施工
までOK

「手絞りでもガンでも使えるエコ容器を初採用」



手絞りでもガンでも作業が出来る
便利でエコな兼用容器を初採用！

※ガンを使用する際は、専用ホルダーが必要です。



作業のおススメポイント

フィルムを下部から徐々にネジって搾り出すと、最後までロスが少なく作業が出来ます。



AUTO CHEMICAL IND. CO., LTD.

オート化学工業株式会社

<https://www.autochem.co.jp>



【特長】

- ①ホルムアルデヒドなどの規制対象物質及び厚生労働省指針物質を含みません。
- ②可塑剤を含まないため、高温化での特性低下が少なく、また発泡スチロール等の断熱材を侵しません。
- ③硬化後は強靱なゴム弾性により、床きしみ音や接着剤のタッキング音を大幅に低減します。

【用途】

木質系床材/木質系下地材用接着剤です。

- ①根太と床下貼り合板、ボード類との接着
- ②床暖房用木質床材の接着
- ③石膏ボード、化粧板、ケイカル板、スレート等の接着
- ④階段の踏み板の接着
- ⑤鋼製束及び樹脂製束とモルタル・コンクリートとの接着

【認定・登録】



JIS A 5536
 単層又は複合フローリング用接着剤/木質系下地用(耐熱型)
 TC037129 F★★★★

日本接着剤工業会 JAIA 4VOC基準適合

【性能】

項目		性能値・結果	
不揮発分(%)		95.7	
比重		1.53	
タックフリー(分/23°C50%RH)		120	
ホルムアルデヒド放散量による区分		F☆☆☆☆	
JAIA 4VOC基準		適合	
可塑剤含有量(%)		—	
発泡体溶解性		なし	
JIS A 5536	平面引張り接着性	常態	合格
		耐熱	合格
	床鳴り防止性能	合格	
JIS認証		取得	
圧縮せん断試験(N/cm ²)	常態	663	
		耐熱	697
	接着剤厚み		0.5mm
		1.0mm	297
ダンベル物性	M ₅₀ (N/cm ²)	398	
	M ₁₅₀ (N/cm ²)	470	
	引張強さ(N/cm ²)	552	
	伸び(%)	407	

【梱包仕様】

600ml×10本/箱
(ノズル10本同梱)

【施工メーター数】

1本で約21m
 (30cm間隔で約6㎡)
 ※ノズル径6mmの場合



【使用方法】

- ①塗布部のゴミ、埃、水分を除去した後防湿膜を破り押出して下さい。
- ②適量を塗布した後、夏季で約20分、冬季で約60分以内に貼りあわせて下さい。
- ③養生は、夏季で約半日、冬季で約1日を目安として下さい。



作業のおススメポイント

フィルムを下部から徐々にネジって搾り出すと、最後までロスが少なく作業が出来ます。

【施工上の注意】

- 接着剤がノズル先端から流れ出る場合があります。開封後は、フローリング等に接着剤が付かないよう注意して下さい。
- 溶剤や他の材料との混合はしないで下さい。
- 下地のゴミや埃・油分・水分を十分に除去してから塗布して下さい。
- アルコール成分を含む溶剤やシリコン系のシーリング材・接着剤等のアルコール成分を発散する材料との同時使用は避けてください。
- 床材表面に付着した場合、速やかに乾いた布等で完全に拭き取ってください。硬化後は除去出来なくなる場合があります。
- PPやPE等の難接着材料や用途以外の材料へのご使用は避けてください。

【注意事項】

- 皮膚に付着した場合は、速やかに石鹸で洗い流した後、ウェス等で拭き取って下さい。
- 火気に近づけないで下さい。 ●雨などに注意し、直射日光を避け冷暗所に保管して下さい。
- 目に入った場合は、清浄な水で良く洗い流した後、必要に応じ医師の診察を受けて下さい。
- 子供の手の届かないところへ保管して下さい。 ●本来の用途以外に使用しないで下さい。
- 取り扱い中は、飲食や喫煙をしないで下さい。
- 本品には、4,4'-ジフェニルメタンジイソシアネートが1%以上含まれますので、皮膚に付着したり蒸気を吸引した場合中毒を起こす恐れがあります。
- 詳しくは製品安全データシート(MSDS)をご覧ください。
- その他ご不明な点がございましたら、弊社営業部までお問合せ下さい。



AUTO CHEMICAL IND. CO., LTD.

オート化学工業株式会社

<https://www.autochem.co.jp>

■本社・東京支店 〒110-0005 東京都台東区上野5-8-5 TEL.03-5812-7310 FAX.03-5812-7950
 ■大阪支店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-18-23 TEL.06-6821-8011 FAX.06-6821-8010